

1 懇談会の開催の趣旨

総合教育会議懇談会は、市長と教育委員会が教育行政のあるべき姿を議論するにあたり、現場の声に耳を傾け、そこで把握したことを次年度以降の取組に活かすことを目的として開催しています。

懇談会は、平成28年度から実施しており、今年度は、津市立幼稚園長会役員、津市PTA連合会本部役員、津市小中学校長会役員、三重県教職員組合津支部役員の皆様との懇談の場を設けました。

今年度は、「教育大綱の策定に向けた教育現場の現状と課題について」をテーマとし、現行の教育大綱が令和5年度で対象期間が終了となることから、新たに策定する必要があり、現行の教育大綱に関連する教育現場での現状や課題等を把握するとともに、新たな教育大綱を策定する上で取り組むべき施策等についてお気付きのことやお考えのこと、また、これまでの取組をどう展開させていけばよいか等について、御意見等をお聴きしました。

3 懇談会での意見

津市立幼稚園長会（8/2開催）	津市PTA連合会（8/2開催）	津市小中学校長会（8/7開催）	三重県教職員組合津支部（8/7開催）
・幼稚園教諭を継続して採用していただいて、非常にありがたく、日々、若い先生の育成に励んでいる。今後も幼稚園教諭の質の向上のため、研修の充実を図っていく。 ・特別な支援が必要な子どもたち、外国につながる子どもたちなど、一人一人を大事にする教育を目指し、また、保護者とのつながりも大事にしていく。 ・公立幼稚園の役割として、小規模であることを強みにして、豊かな環境の中で、子どもへも保護者へも丁寧な支援を行っていく。 ・公立幼稚園が率先して、津市の架け橋プログラムに取り組み、積極的にアピールしていく必要がある。小学校とのつながりを実践しながら、私立幼稚園、保育所、認定こども園、小学校との交流と充実した研修に取り組む。	・子どもたちの意見を反映していくような「子どもたち目線」でいくことを大綱に盛り込んでいくのはどうか。 ・部活動の地域移行について、津市としてのモデルケースを示してほしい。また、保護者も含め、もっと子どもたちへの説明をしていってほしい。 ・地域と一緒に頑張って協力していくという部分では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大もあり、結び付いていない地域があったりしたが、我々保護者は、教員・学校とのつながりが非常に大事であると思っている。 ・外国につながる子どもたちとその保護者が、地域で安心して暮らしていけるための支援づくりが必要ではないか。PTA活動にも協力していただくためにも、保護者とのコミュニケーションも大事である。 ・施設整備について、プール授業が始まってすぐにプールが故障し、授業ができない状況になったことから、小さいころからの泳力を付けていくために、施設故障時のスムーズな対応をお願いしたい。また、子どもたちが使用しているのに、未だエアコンが設置されていないところもあるので、必要なところへの新たなエアコンの設置についてもお願いしたい。 ・ICTの取組の中で、便利さや楽しさだけでなく、危うさの部分を学べる機会もあっていいのではないか。また、教える側である教員の研修の充実についても進めていってほしい。 ・教育振興基本計画に「ウェルビーイングの向上」とある。子どもたちだけではなく、教員のウェルビーイングについても、津市はどう進めていくのかを考えながら、夢のある、先の明るい教育大綱にしていってほしい。	・津市全体の学校施設の老朽化が進んでいるので、スピード感を持って教育環境整備を進めていってほしい。 ・今後の部活動の在り方について、部活動指導員の確保の難しさと、指導時間の制限があることが課題として挙げられる。これらの点についての支援・検討をお願いしたい。 ・教育の最大の環境は「教員」であり、教員が子どもと向き合う質の確保も必要。教師は子どもたちが憧れる職業であり、教師が資質・指導力などを学ぶ力が重要。 ・教員支援員、スクール・サポート・スタッフが配置されていることで、小規模校においても効率よく仕事ができている、効果的である。今後も人材の配置をお願いしたい。 ・学校だけでは取り組むことができない案件であっても、各関係機関との連携・協力により、支援に繋ぐことができた。専門知識を持ったスクールカウンセラー等の存在が非常に大きく、津市全体で子どもたちを守っていきたい。 ・学校運営協議会について、これまで委員の年齢層が高かったのだが、若い力も必要と考えて構成員としたところ、協議会の雰囲気が変わり、非常に良い雰囲気になってきている。今後は、津市全体で、若い人たちが入っていける仕組みづくりが必要ではないかと考える。 ・自校方式の給食について、地域によっては厳しい予算のところもある。津市全体で良い仕組みづくりを。 ・職員室、校長室のエアコンの故障が発生し、何とか乗り切っているが、子どもたちが使う場所にあるエアコンについては、事前に確認をしていく必要があるのではないか。 ・学校での防災訓練について、その内容がマンネリ化している学校もあるのではないか。もっと実践力を身に付ける必要がある。	・支援が必要な子どもたちに対して、個別の支援をしたくても、欠員等により厳しい状況であることから、支援員等の人員の確保をお願いしたい。 ・部分休業の職員が、実際取得できていない。教員の欠員はなく、定数が足りているといえども、実際は人手不足の状況があることから、職場環境の整備が必要である。 ・タブレットの導入3年目ということで、バッテリーの劣化や故障の懸念など、課題は色々あるが、次の更新時には、各家庭への負担がないようにしてほしい。 ・学校施設の老朽化に伴い、給食室の天井の剥がれにより異物混入の恐れがあり、早急に対応した。子どもたちの学校生活のため、安全・安心のための対応をお願いする。